

# 在日米軍の再編と 再編交付金について お知らせします

## Q 在日米軍再編は、なぜ必要なのですか？

A 在日米軍の再編は、抑止力の維持を図りつつ、米軍基地が集中する沖縄をはじめとする基地周辺の負担を軽減するため、在日米軍や自衛隊の配置等を見直すためのものです。

## Q 岩国飛行場の具体的な再編の内容は？

A 平成 18 年 5 月 1 日に日米安全保障協議委員会において「再編実施のための日米のロードマップ」が承認され、岩国飛行場に関して主なものは、以下のとおりとなっています。

厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐等（抜粋）

- 空母艦載機部隊である第 5 空母航空団（59 機）を、2014 年までに厚木飛行場から岩国飛行場に移駐
- 海上自衛隊の航空機（17 機）を岩国飛行場から厚木飛行場へ移駐
- 普天間飛行場の KC-130（12 機）は、岩国飛行場を拠点（訓練および運用のため、海自鹿屋基地およびグアムの米軍基地に定期的にローテーションで展開）
- 海兵隊 CH-53D（8 機）は、岩国飛行場からグアムに移駐
- 将来の民間航空施設の一部が岩国飛行場に設けられる。

## Q 日本政府による在日米軍再編の実施方針の閣議決定の内容は？

A 平成 18 年 5 月 30 日に、在日米軍再編を実施するため、必要な措置をとる政府方針を正式に決めるための閣議決定の内容は以下のとおりです。（抜粋）

- 再編関連措置については、ロードマップに示された実施時期を踏まえ、着実に実施する。
- 再編関連措置を実施する際に、地元地方公共団体において新たな負担を伴うものについては、かかる負担を担う地元地方公共団体の要望に配慮し、わが国の平和と安全への大きな貢献にこたえるよう、地域振興策等の措置を実施する。

現在、米国は、テロなどの新たな脅威に即応できる態勢づくりなどのため、世界に展開している米軍の再編を進めています。在日米軍再編は、この世界規模で進められている米軍再編の一環であり、岩国飛行場も、この再編と深く関わっています。

今月号からシリーズで、Q & A 方式により、岩国飛行場の再編およびこれに伴う再編交付金についてお知らせします。

## Q なぜ、再編交付金が交付されるのですか？

A 在日米軍の再編による平和と安全の利益は、国民が等しく受けますが、そのための負担は一部の地域が負うことになります。

再編交付金は、負担を受け入れる市町村が、公共用の施設の整備その他住民の利便性の向上などの事業を行うために交付されるものです。

## Q 周防大島町には、いくら交付されるのですか？

A 本町では、平成 19 年度から平成 30 年度までの 12 年間で、約 16 億円を見込んでいます。今年度については、4,937 万 7 千円の内示を受けています。

## Q 平成 19 年度の再編交付金の活用方法は？

A 少子化が進む本町において、子どもを育てやすい環境を整備するため、全町的に早期に事業効果が見込める小学 1 年生から小学 6 年生までの医療費の無料化を図る「ちびっ子医療費助成制度」を実施するための基金を、平成 19 年度再編交付金 4,937 万 7 千円により造成することが 12 月議会で議決されました。

ちびっ子医療費助成制度は、原油の高騰などにより、住民生活への影響が出ている中で、医療費の負担を軽減することにより、子育て世代を応援し、若者が住みやすい町を目指すもので、事業期間は、平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 年間としています。

※ちびっ子医療費助成制度は、小学 1 年生から 6 年生までの父母の市町村民税所得割の額が、13 万 6 千 7 百円を超えないものとする所得制限があります。

◆問い合わせ／総務課 ☎ 7 4 - 1 0 0 0